

平成25年度第11回新たな市政運営の総合的な指針に係る庁内策定検討
委員会

日時 2013年10月17日(木)

午前10時

場所 災害対策本部室

日 程

1 開会

2 議題

- (1) 検討委員会・専門部会の開催結果について(資料1-1～1-3)
- (2) 議員全員協議会の開催結果について(資料2)
- (3) 市民意識調査連動型ワークショップの実施について(資料3)
- (4) 重点施策の選定について(資料4)
- (5) 重点事業の指定について(資料5)
- (6) 今後の検討スケジュールについて(資料6)
- (7) 郷土づくり推進会議との意見交換・地区集会について(資料7)
- (8) その他

3 閉会

(事務局 企画政策課 内線2171)

平成 25 年度第 10 回新たな市政運営の総合的な指針庁内策定検討委員
会議事概要

1 日時 2013 年 8 月 19 日（月）午後 1 時 30 分～2 時 20 分

2 議題

本日午前中に、26 日の議員全員協議会資料を議会事務局に持ち込んだところである。その内容についてご確認をいただく。

経過としては、12 日までにご意見をいただき、13 日に副市長調整、14 日に再度各部長宛に案を送信したところである。その後市長調整を行い、今回の資料をまとめたところである。

資料については修正できないが、今後にあたってのご意見をお願いしたいと考えている。

(1) 検討委員会の開催結果について

資料 1 については後程ご確認いただきたい。

(2) 議員全員協議会の資料について

資料 2-1 は経過、2-2 は市民ワークショップ、2-3 が二次案である。2-3 の長期的な視点を中心に説明する。資料 2-1 については、経過の表形式について修正をしたものである。資料 2-2 については、アンケート結果等の市民意見を集約して記載したものである。資料 2-3 については、冒頭から朗読する。できるだけ網羅的に表現することで対応しているので、ご理解をいただきたい。今回は議会の意見等を聞いて、最終案に持っていくという位置づけである。（～p11 まで朗読）。p12 については検討経過ということで出しているものであり、足りない等の意見が議員全員協議会であるかも知れないが、「今後、十分に検討させていただく」という答弁になるかと思う。

【質疑・意見】

- 市長は課題と目指す姿の順が逆では？と言ったと思うが。
 - ☆ 上段が考慮する事項、下段が方向性という意味合いで、市長調整では何も指摘がなかった。
- p10「藤沢駅周辺地区」をはじめとする都市拠点の再整備、という表現でよいか。

◇ 江の島を含めるので、そのような形でよい。

- 都市の持続性について位置づけてほしい。デトロイトのようにならないという意味である。
- 元気都市のイメージ、各部における「元気」を想定してほしい。それを目指していくことも意識してほしい。
- 重点施策に対して、どのような事業を想定しているのかについて質疑があると思う。その場合の対応についてはお願いしたい。

(3) その他

座席，説明文については，23日の朝，メールにて送信する。

全協は議案説明会終了後なので，10時30分頃の開会予定である。座席については6月28日と同様に想定している。

各会派に説明の機会があれば伺ってくるので，関係部については結果をお知らせする。

今回は，10月17日の予定であるが，議員全員協議会での意見等によっては9月中に開催することも想定される。専門部会については9月中に1回は開催する予定である。

平成 25 年度第 10 回新たな市政運営の総合的な指針策定検討委員会専門
部会議事概要

- 1 日時 2013 年 9 月 20 日（金）午前 9 時 30 分～10 時 45 分
- 2 場所 職員会館 3 階ミーティングルーム
- 3 議題

全協資料については改めてメールでファイル送信する。

- (1) 検討委員会・専門部会の開催結果について

資料 1-1, 1-2, 1-3 については後程ご確認いただきたい。

- (2) 議員全員協議会の開催結果について

資料 2 については後程ご確認いただきたい。次の議員全員協議会は 12 月 2 日を想定しており、その際には選定した重点施策を含めた最終案を提示する予定である。それに向けた作業として、重点施策の絞込みと重点事業、長期的な重要案件の選定を行っていく。重点事業の選定については、総務課長宛に依頼する予定であるが、施策未確定後の段階での照会となるため、並行しての作業とした。重点施策候補に対する想定事業をピックアップするという形となる。日程上難しいところもあるのでご理解いただきたい。

- (3) 市民意識調査連動型ワークショップについて

市民意識調査を行い、アンケート調査結果を踏まえて、その傾向、内容分析、深掘りを行うワークショップを行っていく。指針の重点施策、事業に反映させる。

（質疑）

- 検討委員会の承認を得ているのか。
 - ▶ 今回は日程の確保ができず、検討、確認の機会がなかったことについてはお詫びしたい。指標については、新総合計画の指標を採用することは、経費と市民の声を大切にすることである。
- だんだん新総合計画との策定過程と似てきていて、行政計画であるという点が見えにくくなっていると感じている。
- 指標の使い方についてはどのような考えか。
 - ▶ 施策指標については目標管理をしない。事業管理については、目標管理を

行うこととしている。

- 前回のワークショップとの差異はあるのか。
 - ▶ 出席者（対象）を変えている。事前の意識、考えをアンケートで表明するなかで、ワークショップの熟度が深まるのではないかと考えている。理事者との対話の機会を設定している点でも効果があるものと考えている。理事者が参加して、理事者との対話の場をつくる。自分の声が直接理事者に届くということもひとつの特色であると考えている。
- 討論型世論調査との差異は。テーマを興味の有無ではなく、提示した大きいテーマで議論することが良いのではないか。
 - ▶ 経費等であるが、テーマについてはアンケート調査結果を踏まえて深掘りをするので、ある程度、興味、関心のみというこれまでの流れから抜けられるものと考えている。
- 行政事業についても説明し、アンケート結果の相関の乖離や自由記述になる内容を聞き取っていくことも大切であると思うので、ワークショップの設計で考慮して欲しい。
 - ▶ 行政事業についても、アンケート結果とともに説明していく。
- 今回はお金を出さず、市民の皆さんに来ていただくという点でも、その場の内容を無駄にしてはいけないと思う。当日やりながら発言をメモで起こして、すぐにPCでデータを起こして、掲示板に掲出するなどの庁内周知を凶ったほうが良い。検討委員会からのルートだけでなく、一般職員への周知をお願いしたい。自由記述欄も同様である。
- 大学生の参加については、論点がない。何も意見がないかも知れない。
 - ▶ アンケートを渡して、事前に考えておいて貰うことが必要と考えている。
- 地区集会の流れは。
 - ▶ 説明会を想定している。従来型の説明、意見交換の流れを想定している。
- 次回も継続して検討するので、意見があればいただきたい。次回は実施要領レベルを提示したいがアンケートの提出期限前である。
 - ▶ 次回は人数も想定して提示していただきたい。
- 何のために聞くのかが不明確である。指針におけるポイントである重点化のプロセスであるので、根拠として使っていくことが可能であると思うので、

強調したほうが良い。

▶ 原則そのような形で進めている。

(4) 今後のスケジュール案について

資料4に沿って説明した。

(5) その他

今日から11月までに13地区の郷土づくり推進会議への指針の説明を行う予定である。あわせて地区集会にも出席する。

平成 25 年度第 11 回新たな市政運営の総合的な指針策定検討委員会専門
部会議事概要

- 1 日時 2013 年 10 月 11 日（金）午前 9 時 30 分～10 時 40 分
- 2 場所 職員会館 3 階ミーティングルーム
- 3 議題

(1) 専門部会の開催結果について

資料 1 については後程ご確認いただきたい。郷土づくり推進会議との意見交換を 9 月 20 日から行っている。重点施策候補についての意見が多い。公園の整備、藤沢駅、村岡新駅の整備に関する質問が多い。議事録については後日お渡しする。

（質疑）

- 各地域とのキャッチボールはいつまで進むのか。
 - ◇ 地区集会も含めて、年内は意見を聞いて、反映する予定である。
- 新規事業のみを対象としているのか。
 - ◇ 新規に限らないが粛々と進める事業は載せないということを理事者から説明した。
- 公園、駅周辺についてはどのように回答しているのか。
 - ◇ それぞれの状況を含めて進めていくという回答をしている。

(2) 市民意識調査連動型ワークショップについて

資料 2-1～2-3 について説明した。検討委員会に対しては、10 月 17 日の第 11 回委員会会議において報告する。

（質疑）

- 長後に来ることが想定される数はどのくらいか。
 - ◇ 学生によるが 10 名程度かと思われる。
- ワークショップが形成できない場合は茶話会的に進めたほうが良い。
 - ◇ 三澤さん 29 日 NG、齋田さん 2 日 NG
 - 出席できない委員は早めに事務局までご連絡いただきたい。
- グラフなどの記載をし、テーマを絞ったほうが良い。
 - ◇ 重要度が高い、満足度が低いなどについて、それぞれのトピックとなる

ようなものをピックアップして現在の取組を掲載することやクロス集計の結果を掲載したりするようにしたい。

- クロス集計の結果を求められることがあるので、生データを持参したほうが良い。

- ✧ 持参する。(PCが必要)

- 地区と年代のクロスで回収率を出す必要があるのではないか。

- ✧ 参加率や回収率の内容であれば、事後の検証用の際に準備したい。

- 自由記述欄についても話題の傾向があると思う。

- ✧ 参加者について、チェックしておく。

(3) 今後のスケジュール案について

資料3に沿って説明した。

(質疑)

- 今後の検討内容はどのようなものか。

- ✧ ワークショップの企画、実施である。施策、事業検討は部会としては想定していない。市民周知用のリーフレット等の検討を要領に定めているので、作成時に意見をいただくことがあるかと思う。

(4) その他

重点施策の絞り込みについては、理事者と調整してから検討委員会で精査していくこととなる。意識調査、ワークショップの結果も踏まえていくことを想定している。重点事業については、地域まちづくり事業について、地域から本庁に移るものについては、重点事業とするか留意する必要がある。

(質疑)

- 予算要求の入力・新規事務事業、今後の事務量については、どのようなことが想定されるか。

- ✧ 1月以降に多少の作業が生じるかも知れない。基本はヒアリング時に調整することとなる。

議員全員協議会「(仮称) 新たな市政運営の総合的な指針について」(8月26日) 議事概要

質問等 長期的な視点のうち財政状況の記述が足りないように思う。藤沢市の財政の健全性を主張しつつ、将来の政策的経費の減少を示しているが、財政運営をどうしていくのかという点に言及していないと思う。

回答 健全性を維持しつつ財政運営を進めており、今後も健全化指標等を踏まえながら同様に進めていく。厳しい財政運営は現在も同じ状況である。

質問等 二次案の財政状況の記述からは厳しさが伝わってこない。実質公債費比率、将来負担比率等が健全と言っても、国が決めた基準であり、その国自体が健全とは言えない状況であるから、そうした物差しを前提とすること自体の説得力が低い。決して安穩としていられない状況であり、厳しいことはきちんと示していくべきである。

回答 厳しい状況を示す一方で、これまでの努力をいう点を踏まえ、健全性に言及している。文書だけでなく、図表を含め修正をしていきたい。

質問等 数値、概念図等を含めることは必要である。財政状況についても詳細に示していくべきである。今後の義務的経費の増加を想定すれば、投資的経費は薄氷を踏む思いであるはずである。危機感を持って、それを示していただきたい。

質問等 都市像などは決定事項なのか。安全・安心、生活の向上といった観点は取り入れられているのか。行政サービスを向上する目標を設定するとともに、市民の立場に立った指針とすべきである。また市の仕事をどのように捉えていくか、職員の姿勢を加えるべきである。

回答 都市像と都市像を具体化する8つの基本目標には、長期的に考慮すべき事項などを網羅的に位置づけている。市民の声の反映については、パブリックコメント、郷土づくり推進会議との意見交換、市民ワークショップ等を踏まえてきているが、今後もワークショップの開催を予定しており、地区集会等をと併せて行っていく。

質問等 ワークショップの参加者が少ないが、今後の改善に向けた考えはあるか。

回答 秋に開催するワークショップについては、無作為抽出によるアンケート

調査とあわせた参加依頼をしていくとともに、若い世代からの意見聴取という点で、市内大学にも参加依頼をしていきたいと考えている。

質問等 財政状況においては、長期的な視点で大型プロジェクトを捉えていく必要がある。公共施設等の建替についても財源に大きな割合を占めるなかで、具体的な見通しを示していくのか。

回答 この3年間での喫緊の課題を整理するなかで、長期的に取り組む重要案件として位置づけていく。

質問等 市民の声なき声をどのように汲み取っていくか。市民満足度調査や市民意識調査など、広く暮らしの問題や、市民が望んでいることを調査すべきではないか。

回答 市民意識については、指標化という点も含めて、毎年調査を行い、次の改定にも生かしていく。

質問等 国県との関係として、地方自治体とは言えども国の施策に規制されている。国県の方針に対する態度を指針のなかで表明してはいかがか。

回答 地方分権が進展しており、指針に限らずしっかりと基礎自治体としての住民自治を確立していきたい。

質問等 指針に関しては、これまでの総合計画と違い重点化していくという位置づけでありながら、長期的な視点は網羅的であり、重点施策もこれまでどおり網羅的である。総合計画と変わらない。市長任期の4年に併せて特化した内容でなければならないと考える。また長期的な継続性と短期の計画というところも矛盾を感じる。

回答 長期的な視点については、前回の議員全員協議会でのご意見も踏まえ、長期的なビジョン、考え方として位置づけたもので網羅性を持たせている。第2章については、これから重点化していく。指針の継続性については、あくまでも仕組みの継続であり、市長任期ごとに中味は入れ替えていく。

質問等 藤沢らしさ、鈴木市政らしさが見えてこない。重点方針で市長の方針を明確にしていきたい。施策と事業の体系等についても、例えば、災害に強いまちづくりであれば、防災、公共施設、パートナーシップ、シティプロモーションであれば、地産地消、観光、再生可能エネルギーというように切り口を変え、総花にならないようにする必要がある。

回答 今後のワークショップ等での市民の意見を聞きながら選択，集約等を進めたい。

質問等 総花であれば議決の必要があろうかと思うが，重点化した市長の施策，方針であれば議決は不要ではないか。今後検討していただきたい。

回答 議決については，指針が執行機関の重要な方針であることに鑑み，お願いしたいと考えている。また，この指針の枠組みを担保する，長期的に継続するという意識づけも含めて議決をお願いしたいと考えている。

質問等 市長任期にあわせてということであるから，スピード感を持って取り組んでいただきたい。また，歴史・文化にも言及をされているので，知の集約として，文化推進拠点についても重点施策としていただきたい。

回答 今後の重点方針の検討のなかで精査していきたい。

質問等 郷土愛の意識や考え方を学ぶことができる生涯学習の場が必要である。学芸員の設置について重点施策のなかで取り組んでいただきたい。

暮らしやすさを創るテーブル（市民意識調査連動型ワークショップ）の実施について

1 目的と概要

総合計画の策定、評価には市民満足度調査や実現度、充足度調査等を実施してきましたが、「(仮称) 新たな市政運営の総合的な指針」の策定と評価に当たり、①市民が重要と考える施策の抽出、②市民による重点施策等に関する意見交換と情報共有を連動させ、更に③市民活動と市政参画への動機付けを加えた事業を実施します。

これは、市民意識調査を連動させたワークショップを開催し、これまで別々に実施していたものを融合させることで、相乗効果を高めるとともに、市民の施策への関心の向上に寄与することを期待するものです。

(1) 市民意識調査の実施（無作為抽出、統計的处理）

無作為抽出した市民に対し、基本目標に対する実現度や重点施策に対する重要度・実現度（満足度）を調査するとともに、ワークショップへの参加を求めます。

(2) 市民意識調査結果を踏まえたワークショップの開催

市民意識調査結果をもとにワークショップを開催します。

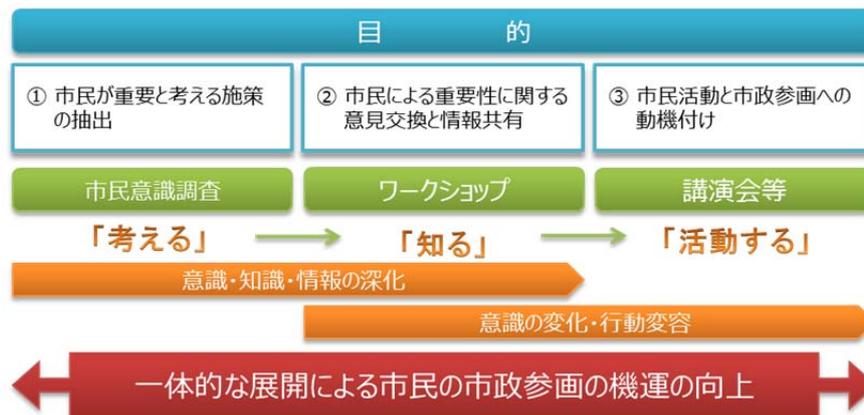
市民意識調査を元にしたワークショップとするため、一定の考え方や疑問点をあらかじめ有していることが想定され、個人の考え方と他者の意見、統計結果を照らし合わせるなかで、より深化した意見交換や深掘りした議論が期待されます。

また、楽しさや学びの要素を加えるため、市長・副市長との対話や講演会を実施し、併せて市民活動の紹介等を実施します。

<「暮らしやすさを創るテーブル」について>

市民意識調査のデータ(テーブル)と意見交換, 懇話等を行う場としての「テーブル」の両方の意味を込めて、融合した一連の事業を「暮らしやすさを創るテーブル」とします。





2 詳細実施内容

詳細実施内容については、次のとおりとします。

(1) 市民意識調査

層化2段（年代・地域）による無作為抽出による郵送法で、市民意識調査を実施する。調査内容は、次のとおりとします。調査項目は、できるだけこれまでの資源を活用するため、市民満足度調査、新総合計画における実現度（当時は充足度）調査等のデータを活用し、経年変化が可視化できるように努めます。

ア 基本目標に関する実現度

新総合計画の「ふじさわ未来課題」から成果として近似するものを選択し、ベンチマーク¹とし、その実現度について調査します。

イ 重点施策候補（39施策）に関する重要度・実現度（満足度）

新総合計画の「戦略目標」、「政策」の成果指標から近似するものを選択し、ベンチマークとし、その重要度、実現度（満足度）について調査します。

ウ ワークショップへの参加可否

ワークショップへの参加意思、保育、手話通訳の必要の有無等は無記名方式で調査します。中止の場合の連絡等はホームページで行うこと、参加はアンケートの提出により自動的に承諾されることを周知します。

エ 自由記述欄

(2) ワークショップ

無作為抽出した調査対象者に向けて、ワークショップの参加案内、申込項目を調査票と併せて送付し、参加を募るとともに、大学生を中心に若年世代への参加を依頼します。

市民意識調査結果を集計し、ワークショップの資料として準備し、参考とし

¹ ベンチマーク 目標とする基準又は状態を評価する基準のこと。

て必要な情報（関連する施策，事業の状況等）を添付した資料を作成します。本来であれば当日のテーマとなるアンケート結果についての事前送付が必要となりますが，アンケート自体において個人情報収集しないため，当日配布とし，資料のボリュームを抑えつつ，当日に内容報告を行うこととします。

テーマ等については，次のとおりとします。

（ワークショップのテーマ例）

ア 重要度の高い施策・事業や実現度（満足度）の低い施策，事業について，身近なところで，どのようなことが該当しているのかの検討

イ 重要度の高い施策・事業や実現度（満足度）の低い施策，事業について，その原因や改善方法についての検討

ウ 基本目標や重点施策候補の全体の傾向を捉え，相対的な状況についての意見交換

（市民参加を促進する取組案）

エ 市政参画を促す市長との対話，講演会又は市政への市民参加に繋がる活動への誘導（活動紹介）

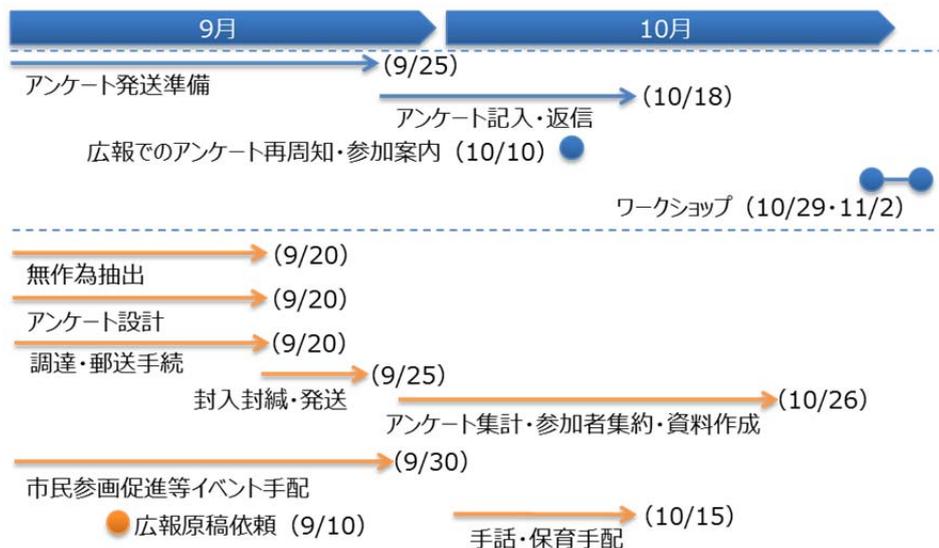
（ア）ワークショップでの意見を市長に聞いてみる。（コーディネーターの要否）

（イ）市政参加につながるミニ講座（手塚明美氏に依頼済）

オ 各地域の地区報，ミニコミ誌，藤沢市市民活動推進センター情報誌，ボランティア情報誌「VOLUNTEERS-ボランティアーズ」等の配布

3 基本スケジュール

基本スケジュールについては，次のとおりとします。



市民意識調査の実施結果について（途中経過）

これまで本市では、総合計画の策定、評価に当たり市民満足度調査や実現度、充足度調査等を実施してきましたが、「(仮称) 新たな市政運営の総合的な指針」の策定と評価に当たり、市民が重要と考える施策の抽出と市民による重点施策等に関する意見交換、情報共有を連動させ、更に市民活動と市政参画への動機付けを加えた事業を実施します。

今回は、この一連の事業を市民意識調査連動型ワークショップとして「暮らしやすさを創るテーブル」と称しています。

1 市民意識調査実施結果(途中経過)

(1) 対象 無作為抽出した9月1日現在20歳以上の市民 2,045人

(2) 調査内容 都市像, 基本目標, 重点施策候補の指標(ベンチマーク)

成果指標については、新総合計画の「ふじさわ未来課題」「成果指標」をできる限り引用し、前計画策定時の民意、資源(経費)を活用することとしました。

また、指標については目標管理とせず、基準(ベンチマーク)とし、その指標値をもとに改善、推進を図るための材料として位置づけます。

(3) 回答状況(10月16日現在)

ア 回答数 643件

イ 回収率 31.44%

ウ ワークショップ参加意向

(ア) 参加 29人(長後3, 市役所26)

(イ) 不参加 396人

(ウ) 未定 172人

(4) 集計状況 別紙のとおり

(仮称) 新たな市政運営の総合的な指針に関する市民意識調査結果

1 基本属性

(1) 性別

性別	回答数	割合
男性	285	44.32%
女性	335	52.10%
未回答	23	3.58%

(2) 年代

年代	回答数	構成比	回収率
20歳代	45	7.00%	17.24%
30歳代	98	15.24%	26.49%
40歳代	122	18.97%	28.57%
50歳代	92	14.31%	31.72%
60歳代	140	21.77%	41.92%
70歳代	105	16.33%	41.18%
80歳代	38	5.91%	32.20%
90歳代～	0	0.00%	0.00%
未回答	3	0.47%	

(3) 職業

区分	回答数	構成比
会社員	171	26.59%
自営業	41	6.38%
団体職員	16	2.49%
農林漁業	1	0.16%
家事専業	144	22.40%
パート・アルバイト	80	12.44%
学生	12	1.87%
無職	137	21.31%
その他	36	5.60%
未回答	5	0.78%

(4) 居住地区

区分	回答数	構成比	回収率
片瀬地区	27	4.20%	25.96%
鶴沼地区	91	14.15%	32.73%
辻堂地区	65	10.11%	32.83%
村岡地区	40	6.22%	29.63%
藤沢地区	70	10.89%	30.17%
明治地区	29	4.51%	20.86%
善行地区	70	10.89%	33.02%
湘南大庭地区	42	6.53%	25.45%
六会地区	39	6.07%	24.38%
湘南台地区	51	7.93%	35.17%
遠藤地区	26	4.04%	44.83%
長後地区	48	7.47%	29.27%
御所見地区	29	4.51%	31.52%
分からない	10	1.56%	
未回答	6	0.93%	

2 重点施策に関する調査

(1) 実感度 (充実感等があるか)

施策候補名	非常に ある	少し ある	あまり ない	まった くない	該当 しない	分から ない	未回答	実感度
災害に強いまちづくりの推進	26	200	196	44	103	56	18	35.15%
公共施設の再整備の推進	19	126	195	33	165	83	22	22.55%
13地区のまちづくりの推進	25	175	211	43	138	36	15	31.10%
市民文化ゾーンの再整備の推進	56	233	150	47	108	25	24	44.95%
元気と健康づくりの推進	31	215	164	33	153	32	15	38.26%
市内中小企業の活力再生	30	181	181	43	141	50	17	32.81%
市内産農水産物の地産地消の推進	24	176	162	36	153	71	21	31.10%
地域資源の開拓等による消費観光の推進	74	258	122	31	111	24	23	51.63%
誰が快適に移動できる交通まちづくりの推進	71	246	130	42	112	23	19	49.30%
スポーツ施設の整備拡充	44	219	139	34	151	38	18	40.90%
環境施設整備の推進	147	313	45	8	86	27	17	71.54%

(2) 実現度 (充足度)

施策候補名	大変充足	概ね充足	不足気味	不足	分からない	未回答	実現度
シティプロモーションの推進	47	294	196	25	69	12	53.03%
マルチパートナーシップの推進	23	150	264	72	117	17	26.91%
郷土文化資産の活用の推進	21	158	232	76	139	17	27.84%
障がい者の相談支援体制の拡充	13	129	236	110	138	17	22.08%
若者を中心とした自立支援	53	251	160	37	124	18	47.28%
きめ細やかな福祉相談と事業連携の推進	28	193	201	84	117	20	34.37%
犯罪のない、明るいまちづくりの推進	28	309	163	59	66	18	52.41%
教育現場におけるICT化の推進	14	105	144	25	339	16	18.51%
学校生活における食の充実	28	164	92	23	316	20	29.86%
消防力の充実・強化	96	357	73	14	92	11	70.45%
安全で快適な道路環境の整備	67	271	168	98	27	12	52.57%
再生可能エネルギーの推進	5	61	191	120	250	16	10.26%

(3) 満足度

施策候補名	大変満足	やや満足	普通	やや不満	不満	分からない	未回答	満足度
地域コミュニティ活動への支援強化	37	86	315	60	41	87	17	22.12%
市民が実感する市民活動の推進	11	72	290	56	26	167	21	17.44%
高齢者福祉施設・居住(居宅)系サービス基盤の整備促進	14	49	165	64	27	302	22	18.48%
地域のニーズに即した子育て支援策の充実	22	109	199	86	31	166	30	27.46%
企業立地の促進	12	37	160	95	38	277	24	13.39%
「学び」を活用した生涯学習の充実	13	68	216	82	29	206	29	18.54%
(仮称)街なみ百年条例にもとづく歴史と景観まちづくりの推進	31	121	245	113	53	55	25	25.85%
谷戸をはじめとする緑地保全の推進	31	117	245	97	48	83	22	26.43%
公立病院としての機能強化	57	157	230	95	47	34	23	35.14%
学校生活に困難がある児童生徒への対応の強化	9	48	177	68	32	279	30	15.66%
待機児童の解消	5	24	106	76	67	332	33	9.32%
村岡地区まちづくりの推進・藤沢駅周辺地区再整備の促進	38	120	217	129	81	35	23	25.99%
西北部のまちづくりの推進・土地区画整理によるまちづくりの推進	14	68	161	83	74	220	23	19.39%
都市インフラ(橋梁、道路、下水道等)の再整備の推進	6	34	183	106	63	222	29	9.50%

3 都市像・基本目標に関する調査(実現度(充足度))

施策候補名	大変充足	概ね充足	不足気味	不足	分からない	未回答	実現度
暮らしやすいまちであること。	37	349	134	39	63	21	60.03%
愛着の持てるまちであること。	53	293	131	29	118	19	53.81%
安全な暮らしを守る	13	178	223	75	131	23	29.70%
文化・スポーツを盛んにする	18	165	197	50	188	25	28.46%
豊かな環境を創る	28	307	157	41	90	20	52.10%
子どもたちを守り育む	28	283	138	39	129	26	48.37%
健康で安心な暮らしを支える	38	318	151	39	75	22	55.37%
地域経済を循環させる	8	118	215	84	193	25	19.60%
都市基盤を充実する	34	242	181	72	93	21	42.92%
市民自治・地域づくりを進める	14	148	202	58	200	21	25.19%

4 重要度調査

施策候補名	割合
災害に強いまちづくりの推進	50.23%
公共施設の再整備の推進	12.75%
13地区のまちづくりの推進	27.37%
市民文化ゾーンの再整備の推進	11.04%
元気と健康づくりの推進	21.15%
市内中小企業の活力再生	21.46%
市内産農水産物の地産地消の推進	13.84%
地域資源の開拓等による消費観光の推進	13.06%
誰が快適に移動できる交通まちづくりの推進	28.15%
スポーツ施設の整備拡充	8.71%
環境施設整備の推進	34.68%
シティプロモーションの推進	21.00%
マルチパートナシップの推進	14.77%
郷土文化資産の活用の推進	9.18%
障がい者の相談支援体制の拡充	36.70%
若者を中心とした自立支援	23.17%
きめ細やかな福祉相談と事業連携の推進	41.37%
犯罪のない、明るいまちづくりの推進	47.90%
教育現場におけるICT化の推進	4.04%
学校生活における食の充実	10.26%
消防力の充実・強化	38.57%
安全で快適な道路環境の整備	25.82%
再生可能エネルギーの推進	20.37%
地域コミュニティ活動への支援強化	11.51%
市民が実感する市民活動の推進	9.02%
高齢者福祉施設・居住（居宅）系サービス基盤の整備促進	33.28%
地域のニーズに即した子育て支援策の充実	38.10%
企業立地の促進	12.13%
「学び」を活用した生涯学習の充実	10.42%
（仮称）街なみ百年条例にもとづく歴史と景観まちづくりの推進	21.77%
谷戸をはじめとする緑地保全の推進	16.49%
公立病院としての機能強化	46.97%
学校生活に困難がある児童生徒への対応の強化	19.13%
待機児童の解消	21.15%
村岡地区まちづくりの推進・藤沢駅周辺地区再整備の促進	24.88%
西北部のまちづくりの推進・土地区画整理によるまちづくりの推進	10.26%
都市インフラ（橋梁、道路、下水道等）の再整備の推進	34.06%
暮らしやすいまちであること。	38.57%
愛着の持てるまちであること。	20.06%
安全な暮らしを守る	45.88%
文化・スポーツを盛んにする	8.40%
豊かな環境を創る	12.44%
子どもたちを守り育む	30.95%
健康で安心な暮らしを支える	44.79%
地域経済を循環させる	19.28%
都市基盤を充実する	20.22%
市民自治・地域づくりを進める	9.64%

5 参加申込状況

(1) 参加意思

区分	回答数
参加（10月29日（長後））	3
参加（11月2日（市役所））	26
不参加	396
未定	172

(2) 参加テーマ

テーマ	回答数
防災・防犯	6
文化・スポーツ	2
環境	6
子育て・教育	2
福祉・健康	6
地域の経済	3
都市基盤（道路・公園・下水道など）	5
自治会・地域の活動	2
その他	1
わからない	3



市民生活に関する意識調査（2013年（平成25年））

選択式の回答は、該当箇所のマークを塗りつぶしてご回答ください。

: 空白マーク : 正しいぬりつぶし : 不十分なぬりつぶし

油性マジックのような、裏面ににじむものでの記入はさけてください。記述式の回答は、回答欄からはみ出さないように記入してください。

この用紙は機械で処理します。回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したり、折り目を付けたたりしないように注意してください。

【ご回答いただいている方について】

(1) 性別をお答えください。

男性 女性

(2) 年代をお答えください。

20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代
 70歳代 80歳代 90歳以上

(3) ご職業をお答えください。

会社員 自営業 団体職員 農林漁業 家事専業
 パート・アルバイト 学生 無職 その他

(4) お住まいの地区をお答えください。

片瀬地区 鶴沼地区 辻堂地区 村岡地区 藤沢地区
 明治地区 善行地区 湘南大庭地区 六会地区 湘南台地区
 遠藤地区 長後地区 御所見地区 分からない

次のページに続きます。



【藤沢全体のことについて】

(5) 次の1～12の項目についてどのようにお感じになりますか？それぞれ該当する欄に1つずつマークしてください。また、1～12の中で生活において重要だと思われるものには、一番右の欄にマークしてください（6つまで）。

		どのように思われますか？						重 要
		すごく そう思う	少しそ う思う	どちら でもない	あまり 思わない	まったく 思わない	わからない	
1	地域で災害への備えができていますと感じますか？	<input type="radio"/>						
2	公共施設を次世代のために、より良い状態で引き継げていると感じますか？	<input type="radio"/>						
3	地域で支え合っていると感じますか？	<input type="radio"/>						
4	市内に文化的な魅力があると感じますか？	<input type="radio"/>						
5	健康づくりを支える環境が充実していると感じますか？	<input type="radio"/>						
6	市内の工業に活力があると感じますか？	<input type="radio"/>						
7	市内の商業に活力があると感じますか？	<input type="radio"/>						
8	市内の農水産業に活力があると感じますか？	<input type="radio"/>						
9	市内の観光に活力があると感じますか？	<input type="radio"/>						
10	交通ネットワークが充実していると感じますか？	<input type="radio"/>						
11	スポーツ施設が充実していると感じますか？	<input type="radio"/>						
12	環境に配慮したゴミ処理がされていると感じますか？	<input type="radio"/>						

次のページに続きます。

★マークのしかた



(6) 次の1～12の項目についてどれくらい実現できていると思いますか？それぞれ該当する欄に1つずつマークしてください。また、1～12の中で生活において重要だと思われるものには、一番右の欄にマークしてください（6つまで）。

		今どれくらい実現できていると思いますか？					重 要
		よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	わからない	
1	市民が自慢できるまちであること。	○	○	○	○	○	○
2	市民自らが藤沢を良くする活動に積極的であること。	○	○	○	○	○	○
3	豊かな地域の資源を大切に、楽しい体験ができるまちであること。	○	○	○	○	○	○
4	社会的弱者の方が快適に過ごせるまちであること。	○	○	○	○	○	○
5	子どもが、住んでいる地域に誇りを持ち、地域で暮らし続けていること。	○	○	○	○	○	○
6	福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること。	○	○	○	○	○	○
7	犯罪のない、明るいまちであること。	○	○	○	○	○	○
8	パソコンなどの情報機器を使った学校での教育活動が盛んなまちであること。	○	○	○	○	○	○
9	食事や食生活を意識した学校生活がなされていること。	○	○	○	○	○	○
10	消防や救急の活動が充実していて、安心できること。	○	○	○	○	○	○
11	道路が整備され、快適であること。	○	○	○	○	○	○
12	自然エネルギーが有効に活用されているまちであること。	○	○	○	○	○	○

次のページに続きます。

★マークのしかた



(7) 次の1～14の項目の取り組みへの満足度についておうかがいします。また、1～14の中で生活において重要だと思われるものには、一番右の欄にマークしてください（7つまで）。

		どのように思われますか？						重 要
		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	わからない	
1	自治会活動について	<input type="radio"/>						
2	市民主体のまちづくり活動について	<input type="radio"/>						
3	高齢者の在宅サービスについて	<input type="radio"/>						
4	安心して子育てができる環境づくりについて	<input type="radio"/>						
5	新しい産業の立地について	<input type="radio"/>						
6	生涯学習の機会や場の提供について	<input type="radio"/>						
7	美しい街なみなど、市内の景観づくりについて	<input type="radio"/>						
8	斜面緑地や樹木など緑の保全について	<input type="radio"/>						
9	いつでも安心して受けられる医療の充実について	<input type="radio"/>						
10	個性豊かな児童生徒が育成される開かれた学校づくりについて	<input type="radio"/>						
11	保育園の待機児童の解消について	<input type="radio"/>						
12	駅をはじめとする都市の拠点の整備について	<input type="radio"/>						
13	市の北部の道路や住宅の整備について	<input type="radio"/>						
14	橋や下水道の老朽化対策について	<input type="radio"/>						

次のページに続きます。

★マークのしかた



(8) 次の1～10の項目についてどれくらい実現できていると思いますか？それぞれ該当する欄に1つずつマークしてください。また、1～10の中で生活において重要だと思われるものには、一番右の欄にマークしてください（5つまで）。

		今どれくらい実現できていると思いますか？					重 要
		良くできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	わからない	
1	誰もが快適に暮らせ、居心地の良いまちであること。	<input type="radio"/>					
2	子供が大人になっても愛着の持てるまちであること。	<input type="radio"/>					
3	災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること。	<input type="radio"/>					
4	地域の記憶や文化が継承され、発展すること。	<input type="radio"/>					
5	まちと自然環境の調和がとれていること。	<input type="radio"/>					
6	子どもを安心して育てられる環境があること。	<input type="radio"/>					
7	保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと。	<input type="radio"/>					
8	産業の活力を高め、地域が元気になること。	<input type="radio"/>					
9	移動や利用にあたり、誰でも利用できる道路や施設であること。	<input type="radio"/>					
10	市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること。	<input type="radio"/>					

【その他】

(9) このアンケートについても含め、市へのご意見などがありましたらお聞かせください。

(何も書かなくても構いません。)

(個別にはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。)

次のページに続きます。

重点施策の選定方法について

1 選定に当たっての情報

検討委員会委員による重要度・緊急度アンケートを実施し、それぞれの集計結果については、相関的に位置づけた情報（マトリクス）として委員に示しています。

今後、市民意識調査において基本目標、重点施策候補についての満足度、実現度、重要度に関するアンケート調査を、無策抽出した市民2,000人を対象に実施し、その調査結果を示した上での市民ワークショップを実施する予定となっています。

2 今後の検討内容

マトリクスと市民意識調査結果、市民ワークショップ（7月・10月～11月）の結果を踏まえ事務局が案を作成し、理事者調整を行った後に検討委員会で検討する流れを3回行い、重点施策を含む新たな指針三次案を作成します。その後、市議会議員全員協議会や地区集会での意見を踏まえ、1～2月に開催される市議会議員全員協議会において最終案を報告した後、議案として上程します。

なお、検討委員会での議論に際しては、共通理解を得るために、具体的な事業例を提示し、重点事業についても並行して議論することとします。

施策の再整理（事務局素案の作成）（～10月25日）

検討委員会での評価結果、パブリックコメント、市民ワークショップ（7月開催）、市長公約を踏まえ施策の再整理を行います。

また、同一施策についても所管部門だけでなく、横断的な事業の紐付けについて検討します。

理事者調整（10月22日～24日）

事務局素案に対する理事者調整を行い、重点施策素案を作成します。

第12回検討委員会（10月31日）・第13回検討委員会（11月6日）

理事者調整後の重点施策素案について検討します。

↓

理事者調整（11月11日）

検討委員会での意見を踏まえ、理事者調整を行い、重点施策案を作成します。

第14回検討委員会（11月14日）

重点施策案について検討します。



理事者調整（11月18日）

検討委員会での意見を踏まえ、理事者調整を行い、重点施策を含む新たな指針三次案を作成します。

第15回検討委員会（11月20日）

新たな指針三次案を決定します。議員全員協議会に資料として提出する案とします。



市議会議員全員協議会（12月2日）

新たな指針三次案を説明し、意見を聴取します。



重点事業の示達（12月26日）

重点事業を示達します。



第16回検討委員会

議員全員協議会資料として新たな指針本編及び別冊の案を決定します。



市議会議員全員協議会（1月末～2月初旬）

新たな指針及び別冊について説明し、意見を聴取します。



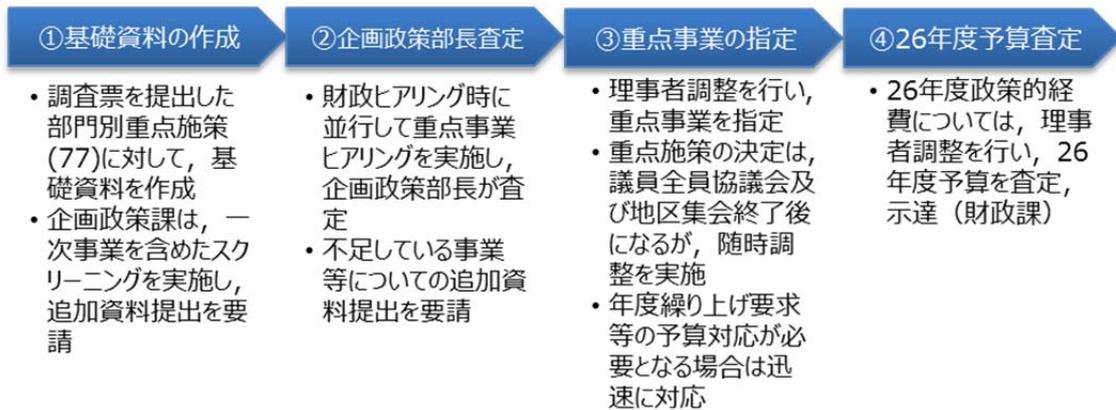
市議会2月定例会

新たな指針について上程します。

新たな市政運営の総合的な指針における重点事業の指定方法・事務手順について

1 指定事務の概要

部門別重点課題調査時に候補となる事業を参考聴取しているため、その事業を中心とした基礎資料を各課で作成し、基礎資料に基づく査定を実施し、重点事業を指定する。あわせて長期的に取り組む重要案件を位置づけます。



2 詳細事務手順

基礎資料の作成（～10月21日）

各部から重点課題として提出された77課題・施策について、集約した39分野別重点課題候補に基づき、重点事業候補に関する基礎資料を各課で作成する。

重点事業基礎資料については、事業概要、背景、目的等、予算要求基礎資料に記載する事項は記載せず、添付することで作業を省略します。

企画政策部長査定（～12月12日）

財政課の予算ヒアリングと並行して重点事業ヒアリングを実施し、重点事業の査定を行います。この際に提出されていない事業の追加資料提出、長期的に取り組む重要案件の整理を行います。

この間に重点方針（分野別重点課題・重点施策）の決定がなされる（12月2日に議員全員協議会開催予定）ため、その最終案の決定を受けて査定を行いつつ、他の施策への付け替えを検討します。

重点事業の指定（①～12月20日、②～12月25日）

①平成26年度予算理事者調整前に重点事業に関する理事者調整、検討委員会

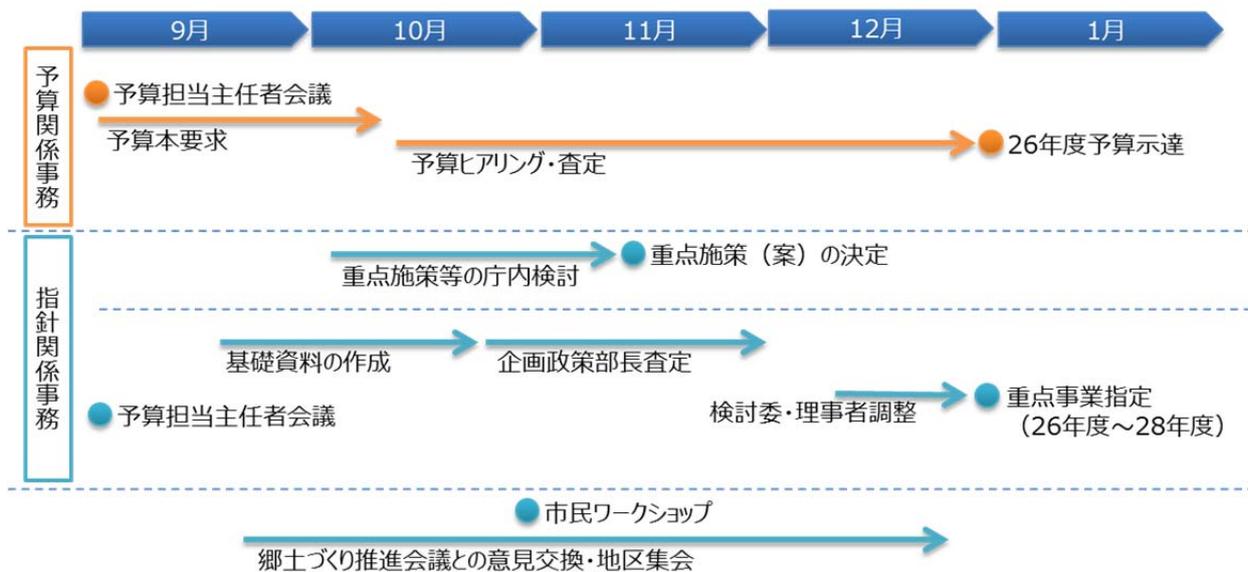
を開催し、重点事業の指定（事業費以外）を行う。②平成26年度予算の理事者調整を経て、事業費を確定させ、事業費を含めた指定を行います。あわせて財務会計システムに指針のコードを入力します。

別冊の作成（～1月15日）

重点事業示達後に、別冊用のフォーマットを提供し、各課で重点事業、長期的に取り組む重要案件に関するページを作成します。別冊用のフォーマットについては、予算の概況の様式を流用し、3年分の事業費を記載できるように調整したものとします。併せて、資料集に掲載する他都市類似事例や事業に関する資料等の提出を求めます。

短期財政計画の作成（～1月15日）

重点事業の各年度事業費を積み上げ、短期財政計画を作成します。



郷土づくり推進会議への指針の2次案の説明・意見交換 実施要領

1. 日時・会場

地区	実施日	時間	場所
片瀬	9月20日(金)	18:30~19:30	片瀬市民センター
村岡	10月2日(水)	18:30~19:30	村岡公民館
善行	7日(月)	19:00~20:00	善行市民センター
長後	11日(金)	15:30~16:30	長後市民センター
湘南台	15日(火)	14:00~15:00	湘南台市民センター
辻堂	17日(木)	15:30~16:30	辻堂市民センター
遠藤	17日(木)	19:00~20:00	遠藤市民センター
藤沢	23日(水)	19:00~20:00	藤沢公民館
六会	24日(木)	18:30~19:30	六会市民センター
鵠沼	28日(月)	14:00~15:00	鵠沼市民センター
御所見	11月7日(木)	19:00~20:00	御所見市民センター
湘南大庭	8日(金)	19:00~20:00	湘南大庭市民センター
明治	11日(月)	14:00~15:00	明治市民センター

2. 出席者

- ・ 各地区郷土づくり推進会議委員
- ・ 市長、両副市長 ※滞在時間1時間で確保。閉会まで滞在
 - ※ 片瀬、村岡については、決算特別委員会が終了しない場合、両副市長欠席
 - ※ 湘南大庭については、県副市長と重なった場合は、副市長1名欠席
- ・ 各市民センター長・公民館長ほか事務局職員
- ・ 企画政策部長、企画政策課職員（参事他2名）
- ・ 市民自治部長、市民自治推進課職員（参事他2名）

3. 当日の進め方

- (1) 開会
 - ・ 全体で1時間を予定。
 - ・ 進行は各市民センター長・公民館長が行う。
- (2) 市長あいさつ
- (3) 推進会議議長あいさつ
- (4) 「新たな市政運営の総合的な指針」の2次案について説明（15分～20分程度）
 - ・ 企画政策部長から2次案の概要を説明。※パワーポイント使用
- (5) 質疑、意見交換
 - ・ 企画政策部長からの説明を受け、質問や意見等があれば。
- (6) 閉会

地区全体集会開催日(確定)

会場(部屋名)	月 日	開催時刻	備考	調整状況
遠藤市民センター	11月9日(土)	10:00 ~ 12:00		集会前半で指針の説明。終了後、六会へ移動。
六会市民センター	11月9日(土)	10:30 ~ 12:30		・10:30~六会建て替え、北高跡地関連議題 ・11:30頃~指針の説明
片瀬市民センター	11月16日(土)	13:00 ~ 15:00		冒頭13時から指針説明希望
藤沢公民館	11月16日(土)	15:00 ~ 17:00		14:00~16:00から変更 冒頭15時から指針説明希望
鵜沼市民センター	11月24日(日)	14:00 ~ 16:00		
湘南大庭市民センター	11月30日(土)	10:00 ~ 12:00		
辻堂市民センター	11月30日(土)	14:00 ~ 16:00		
明治市民センター	11月30日(土)	19:00 ~ 21:00		
長後市民センター	12月7日(土)	13:30 ~ 16:30		11/30から変更
御所見市民センター	12月12日(木)	19:00 ~ 21:00		
善行市民センター	12月14日(土)	10:00 ~ 12:00		11/30から変更
湘南台市民センター	12月14日(土)	13:30 ~ 15:30		
村岡公民館	12月21日(土)	14:00 ~ 16:00		

区分	内容	アンケート内容
都市像1	郷土愛あふれる藤沢～松風に人の和うるわし 湘南の元気都市～	誰もが快適に暮らせ、居心地の良いまちであること。
都市像2	郷土愛あふれる藤沢～松風に人の和うるわし 湘南の元気都市～	子供が大人になっても愛着の持てるまちであること。
基本目標1	安全な暮らしを守る	災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること。
基本目標2	文化・スポーツを盛んにする	地域の記憶や文化が継承され、発展すること。
基本目標3	豊かな環境を創る	まちと自然環境の調和がとれていること。
基本目標4	子どもたちを守り育む	子どもを安心して育てられる環境があること。
基本目標5	健康で安心な暮らしを支える	保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い暮らしやすいこと。
基本目標6	地域経済を循環させる	産業の活力を高め、地域が元気になること。
基本目標7	都市基盤を充実する	移動や利用にあたり、誰でも利用できる道路や施設であること。
基本目標8	市民自治・地域づくりを進める	市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること。
施策候補1	災害に強いまちづくりの推進	地域で災害への備えができていますか？
施策候補2	シティプロモーションの推進	市民が自慢できるまちであること。
施策候補3	庁舎、市民センター・公民館、学校等の公共施設の再整備の推進	公共施設を次世代のために、より良い状態で引き継いでいますか？
施策候補4	13地区のまちづくりの推進	地域で支え合っていると感じますか？
施策候補5	地域コミュニティ活動への支援強化	自治会活動について
施策候補6	市民が実感する市民活動の推進	市民主体のまちづくり活動について
施策候補7	マルチパートナーシップの推進	市民自らが藤沢を良くする活動に積極的であること。
施策候補8	犯罪のない、明るいまちづくりの推進	犯罪のない、明るいまちであること。
施策候補9	スポーツ施設の整備拡充	スポーツ施設が充実していると感じますか？
施策候補10	郷土文化資産の活用の推進	豊かな地域の資源を大切にし、楽しい体験ができるまちであること。
施策候補11	市民文化ゾーンの再整備の推進	市内に文化的な魅力があると感じますか？
施策候補12	「学び」を活用した生涯学習の充実	生涯学習の機会や場の提供について
施策候補13	きめ細やかな福祉相談と事業連携の推進	福祉が充実し、子どもから高齢者まで守られていること。
施策候補14	高齢者福祉施設・居住(居宅)系サービス基盤の整備促進	高齢者の在宅サービスについて
施策候補15	障がい者の相談支援体制の拡充	社会的弱者の方が快適に過ごせるまちであること。
施策候補16	元気と健康づくりの推進	健康づくりを支える環境が充実していると感じますか？

区分	内容	アンケート内容
施策候補17	地域のニーズに即した子育て支援策の充実	安心して子育てができる環境づくりについて
施策候補18	若者を中心とした自立支援	子どもが、住んでいる地域に誇りを持ち、地域で暮らし続けていること。
施策候補19	待機児童の解消	保育園の待機児童の解消について
施策候補20	再生可能エネルギーの推進	自然エネルギーが有効に活用されているまちであること。
施策候補21	環境施設整備の推進	環境に配慮したゴミ処理がされていると感じますか？
施策候補22	市内中小企業の活力再生	市内の商業に活力があると感じますか？
施策候補23	企業立地の促進	新しい産業の立地について
施策候補24	市内産農水産物の地産地消の推進	市内の農水産業に活力があると感じますか？
施策候補25	地域資源の開拓等による消費観光の推進	市内の観光に活力があると感じますか？
施策候補26	公立病院としての機能強化	いつでも安心して受けられる医療の充実について
施策候補27	だれもが快適に移動できる交通まちづくりの推進	交通ネットワークが充実していると感じますか？
施策候補28	(仮称)街なみ百年条例にもとづく歴史と景観まちづくりの推進	美しい街なみなど、市内の景観づくりについて
施策候補29	村岡地区まちづくりの推進	駅をはじめとする都市の拠点の整備について
施策候補30	谷戸をはじめとする緑地保全の推進	斜面緑地や樹木など緑の保全について
施策候補31	藤沢駅周辺地区再整備の促進	駅をはじめとする都市の拠点の整備について
施策候補32	西北部のまちづくりの推進	市の北部の道路や住宅の整備について
施策候補33	土地区画整理によるまちづくりの推進	市の北部の道路や住宅の整備について
施策候補34	都市インフラ(橋梁、道路、下水道等)の再整備の推進	橋や下水道の老朽化対策について
施策候補35	安全で快適な道路環境の整備	道路が整備され、快適であること。
施策候補36	消防力の充実・強化	消防や救急の活動が充実していて、安心できること。
施策候補37	学校生活に困難がある児童生徒への対応の強化	個性豊かな児童生徒が育成される開かれた学校づくりについて
施策候補38	教育現場におけるICT化の推進	パソコンなどの情報機器を使った学校での教育活動が盛んなまちであること。
施策候補39	学校生活における食の充実	食事や食生活を意識した学校生活がなされていること。